

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ワコーレ西宮久寿川新築工事	階数	地上10階
建設地	兵庫県西宮市今津曙町13番3	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	144人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年10月 予定	評価の実施日	2021年4月21日
敷地面積	1,020㎡	作成者	己波 智佳子
建築面積	420㎡	確認日	
延床面積	2,979㎡	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

①参照値 100%
②建築物の取組み 84%
③上記+②以外の 84%
④上記+ 84%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 4
Q3 室外環境(敷地内): 2
LR1 エネルギー: 1
LR2 資源・マテリアル: 2
LR3 敷地外環境: 1

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.2

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	駅近辺の近隣商業地域として人が寄りたくなるような明るくすっきりとした印象を与えることを目的に建物形状はほぼ整形なシンプルな形状とし、意匠として水平垂直のラインを出す・アプローチには一部アクセントを施す計画としています。また、計画建物は周囲より高い10F建てですが、道路に囲まれた区画の中央に奥まった配置とし、道路から見ても	その他 東側道路に面した宅用駐車スペースにはグリーンブロックを採用し、道路に面して柔らかく・開けた印象を与えるよう配慮しています。
Q1 室内環境	遮音・断熱性に配慮した。住戸部分の全てのサッシは遮音性能T-2、断熱性能H-2とした。	Q3 室外環境(敷地内) 周囲より建物の規模が大きいため、外壁の大部分はYR系のグレーの落ち着いた色彩を採用し、そこに白の水平ラインによりすっきりとした印象・木目調のマリオンにより柔らかい印象を加えました。
LR1 エネルギー	照明計画等の設備システムの高効率化に配慮した。	LR3 敷地外環境 敷地外環境へ悪影響を与えないために、各種基準を満たすよう配慮した。
Q2 サービス性能	駐車場・駐輪場の台数を設置義務台数より多く確保した。	
LR2 資源・マテリアル	有害物質を含まない材料など、低環境負荷材を利用した。また、躯体と仕上げ材、内装材と設備を容易に分別可能とした。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される